

## 地域づくり協議会だより

発行日：平成27年6月1日 発行者：木曾川町連区地域づくり協議会  
一宮市木曾川町内割田一の通り27（一宮市木曾川庁舎内） 電話：84-0005  
メールアドレス k-chiiki@orihime.ne.jp

### \*\*\*\* 部会の活動方針 \*\*\*\*

地域づくり協議会はいよいよ2年目です。木曾川町連区の特徴を活かした地域住民の自主的な活動を目指し発足したこの協議会ですが、今年度の重点事業への取り組み方針などを各部会長に伺いました。

#### == 活気あふれる催しに挑戦 ==

活気部会長 山口 昭雄

町の活気は、人々の町に対する「自信と誇り」から生まれます。自信と誇りを生み出すのは「自慢の種」です。木曾川町地域の自慢の種の最大のものは「木曾川」であり、その河川敷の自然です。

活気部会では今年度の活動の軸足の一方を里小牧の「自然公園」に置いてみよう、可能性を探り始めました。自然の中で世代を超えて楽しんでいけること・・・第1回部会で提案されたのが「流木アート」です。



里小牧の自然公園

木曾川が流域にもたらす物の中には、お宝もあればごみもある。まずは「ごみ」に注目・・・流木です。太い幹もあれば小枝もある。それに思い思いの「芸術的」な加工を施して木曾川町文化祭で展示しよう！これが世代を超えた活気あふれる行事として成り立っていくかどうか・・・スタート地点に立ったばかりですが、小中学生からお年寄りまで、幅広い連携のもとで可能性を見つけていきたいと思っています。

もう一方の軸足は「木曾川町盆踊り大会」まさに活気の源といえる行事です。これをさらに「にぎわいの町木曾川」にふさわしいものに盛り上げていけないかと部会で提案したところ、構成団体である「木曾川町商工会」から声が上がりました。「一豊まつりと合体してはどうか！」会場が木曾川庁舎から木曾川運動場に移ったこともあって、隣接の商業施設との連携も視野に入れての提案です。こちらは大いに検討の価値あり！ さっそくこれまでの担い手の公民館・文化団体協議会と商工会とで協議を進めます。

以上、ようやく部会としての目標がはっきり見えてきました。皆さまにワクワクしていただけるような事業の実現をめざし、木曾川町地域の「自慢の種」を育てていきたいと思っています。

#### @@@@ 広報部会より @@@@

各部会の活動目標が見えてきました。広報部会も地域の情報や活動を迅速に発信すると共に、より多くの皆さんの意見を町づくりに反映できるように、協議会だよりの毎月発行とホームページの立ち上げを準備しています。

“ボランティア募集、明日の木曾川町を皆さんの手で一緒に創りませんか！”

## == 思いやりの絆づくりから ==

思いやり部会長 岩田 侃次

思いやり部会では現在二つの事業を担当しています。一つ目は“見守りネットワーク事業”二つ目は“敬老会事業”です。

見守りネットワーク事業は平成20年度に設置要綱が作成され啓蒙活動を7年間実施してきましたが、成果が上がっていません。思いやりのある町づくりをめざし、見守りネットワーク活動の重要性を再認識してもらうために、部会員の皆さんと話し合い、また独自の取り組みをすでに始められている西成連区地域づくり協議会にも出向きお話を伺ってきました。

西成連区の“ご近所の絆「見守りネットワーク」”は、向こう三軒両隣の絆づくりを構築し、温もりの溢れる地域づくりを目標に、平成22年度より地域づくり協議会の重点事業として西成連区をあげて取り組まれています。



われわれの木曾川町連区でも、本年度の重点事業として、見守りネットワークの活性化を図りたいと考えています。そのためには、連区の町会長会をはじめ民生児童委員協議会、老人クラブ等の団体の協力と連携を下に、住民一人ひとりがふれあい、助け合いの精神で見守り支え合う町づくりに参画して、絆づくりから始めましょう。

最後に、町内会長、民生児童委員を補佐、協力する福祉協力員（仮称）を、探して下さるようお願いいたします。

“誰もが自分らしく生きられる” 地域づくりのために  
皆でがんばりましょう

## == 安全安心へ一歩一歩 ==

安全安心部会長 国井 紀元

誰もが安全安心に暮らせる町づくりを目指して、具体的な活動を積み重ねていきます。今年の防災訓練は、10月4日（日）に木曾川東小学校において、東小学校区の2区の町内会（自主防災会）を主体に実施します。

また、記憶に新しいところでは昨年6月に木曾川において、小中学生の水難事故がありました。そこで再発を防ぐ一助として、着衣での水泳を親子で体験していただくため、8月23日（日）に黒田小学校・木曾川西小学校・木曾川東小学校において、親子着衣水泳教室を開催します。これらは、木曾川文化・スポーツクラブ、各小学校PTA と共催し、地域づくり協議会構成団体の連携を活かして実施します。



昨年の防災訓練

現在の課題としては、犯罪発生が多い現状から、防犯への対策が必要と思われます。

また、子供が交通事故・犯罪に巻き込まれるのを防ぐため、大人による見守り活動が行われていますが、地域によって活動状況に大きな相違があります。

防災については、学校区での防災訓練以外に、町内会単位での防災訓練の推進、地域の防災に関する各種の情報収集（避難場所・防災倉庫の場所・防災資機材・地下水利用可能場所・AEDの設置場所等）も必要です。

部会では関連団体の協力を得て、これらの課題についてすでに活動を進めている地域・団体の実態を参考に、木曾川町全体で安全安心への取り組みを進めていきたいと考えています。